

E.I 様

読んだ本の書名：「おうちが ふたつ」

(クレール・マジュレル 作 カディ・マクドナルド・デントン 絵
日野 智恵、日野 健 訳 明石書店 2006)



絵本シリーズ「パパとママが別れたとき…」、おもに小学校低学年児童のために、というサブタイトルがついています。フランスの絵本作家クレール・マジュレルさんが、両親が離婚してしまった女の子の話を実際に聴き、彼女をなぐさめるために書いたお話に、カディ・マクドナルド・デントンさんの美しく温かい絵がつけてあります。

主人公の男の子アレックスが、パパとママそれぞれの家を、おそらくほぼ等しい割合で行き来し、それぞれの家のキッチンでそれぞれの親と料理を楽しんだり、パパの家にいるとママから電話がきて、ママの家ではパパから電話がきたり、それぞれの家で、それぞれの親との生活を、それぞれの親の愛情を感じながら楽しんでいる様子がシンプルな文章で書かれています。パパもママも大好きで、どちらにいても変わらないこと。

ラスト、「パパもママもアレックスがすきなんだ」とパパが、「パパとママはどこにいてもアレックスがすきなよ」とママが、そしてパパとママがぼくにいった「アレックスがどこにいてもだいすきよ」。欧米諸国では離婚後も両親が親権を持つことができる共同親権が認められていることが多いのですが、離婚後は単独親権になる日本、しかも経済的にも恵まれていないとこのような理想的な環境は難しいと思いますが、それぞれの親が、それぞれの中に変わらない子どものためのスペースを確保し続ける努力をすることはとても必要なのではないかと思います。